

## 250名超が参加！保護者向け進路講演会を実施しました

2026.6.29

6月27日(土)、全学年の保護者の皆様を対象にした「進路講演会」を本校体育館にて実施しました。今年は昨年以上となる**250名を超える保護者の皆様**にご来場いただき、進路への関心の高さがうかがえる講演会となりました。



講師としてお迎えしたのは、昨年に引き続き、代々木ゼミナールの荒木大和様です。

前半では、**最新の入試動向**をもとに、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜それぞれの流れや特徴、メリット・デメリットについて詳しくお話しいただきました。入試制度が多様化する中で、保護者の皆様も熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。

後半は、**保護者としての心構え**について、「費用面」と「学習面」の両面から具体的なお話がありました。



費用面では、合格後の入学手続きや初年度納付金の支払い時期について説明が

あり、特に総合型・学校推薦型選抜では一般選抜よりも納付時期が早いこと、手続きの不備や締切日の勘違いによって合格を逃してしまうケースがあることなど、進学に向けて保護者が把握しておくべき重要なポイントが共有されました。

また学習面では、受験で苦戦した生徒の実例をもとに、「定期テスト対策だけでは応用力が身につかない」「授業や模試を受けっぱなしにせず復習することが重要」「苦手科目から逃げず基礎を固めることが大切」

など、日々の積み重ねの重要性についてお話しいただきました。特に「**3年生の秋からでは間に合わない**」という言葉には、多くの保護者が深くうなずいていました。

講演会終了後には、多くの保護者の方々が荒木様や進路支援部長の宮森教諭のもとを訪れ、推薦入試や大学合格後の進路選択について具体的な相談をされていました。それぞれのご家庭で、お子様の進路について考える大切な時間になったことと思います。

また、会場設営・運営・復元にあたっては、今年も多く部の活動生徒が協力してくれました。多くの支えによって実現した今回の講演会。生徒・保護者・学校が一体となって進路を考える、非常に有意義な機会となりました。